

実務経験のある教員による授業科目（人文社会学部）

| 科目名 | 単位数 | 実務経験を活かした教育の取組 | 心理 | 現代 | 国際 |
|---------------|-----|---|----|----|----|
| NGO論 | 2 | 担当教員は、南アジアを中心に以下のような海外での実務経験を有しており、実務上のフィールド経験が講義に反映されている。 ・外務省派遣専門家、JICA現地事務所職員、JICAプロジェクト派遣専門家、NGO職員 | ○ | ○ | ○ |
| 英語科教育法A | 2 | 名古屋大学教育学部附属中学高等学校の現職副校長としての経験を、この教育に活かそうと考えています。 | | | ○ |
| 英語科教育法C | 2 | 名古屋大学教育学部附属中学高等学校の現職副校長としての経験を、この教育に活かそうと考えています。 | | | ○ |
| 比較教育学 | 2 | 高校非常勤講師（中国語、世界史、政治経済）の経験から、高校の状況についても議論する。 | ○ | ○ | ○ |
| 保育原理 | 2 | 保育園・幼稚園の実務経験のあるものが、模擬保育の中でコメントを行います。模擬保育等の詳細については、授業内に別途指示致します。 | ○ | | |
| 保育内容演習（人間関係） | 2 | 幼稚園、保育所での実務経験のあるものの授業である。 | ○ | | |
| 福祉心理学 | 2 | 情緒障害児短期治療施設（現児童心理治療施設）、児童相談所での雇用判定員（発達相談・心理判定・障害児通園施設における療育）および虐待に関するカウンセリング、配偶者暴力相談支援センターでの相談員などを経験している教員が講義をする。 | ○ | | |
| 関係行政論 | 2 | 多くの授業回で、現場を熟知する実務経験者、外部講師、ゲストスピーカーが講師となり、講義を行う。 | ○ | | |
| 境界文化論 | 2 | 演劇に関するトピックスや映像鑑賞も多々あるが、これは現代ドイツ戯曲の翻訳や上演実践に携わった経験を持つ教員が講義を担当しているから。 | | | ○ |
| 教育史 | 2 | 高校非常勤講師（中国語、世界史、政治経済）の経験を生かして高校教育についても授業をする | ○ | ○ | ○ |
| 教育社会学 | 2 | 実務家教員による経験談を聴き、質疑応答することを通して学校現場の状況を知る | ○ | ○ | ○ |
| 教職実践演習（中・高） | 2 | 中学校・高等学校に勤務した教員が、本科目を担当する | ○ | ○ | ○ |
| コミュニティワーク論 | 2 | 社会福祉協議会理事および地域福祉計画策定委員の業務に携わった経験を活用して講義を展開する | | ○ | |
| 高等学校教育実習 | 3 | 中学校・高等学校に勤務した教員が、本科目を担当する。 | ○ | ○ | ○ |
| 国際文化特講 1 | 2 | 中央官庁で情勢分析に携わった経験のある教員が、東アジア地域情勢に関する講義を行う。 | | | ○ |
| 子ども青少年支援論 | 2 | 地域で活躍する団体のメンバーも、自分たちの活動を踏まえて学生に何が必要であるのかを伝えます。 | ○ | ○ | ○ |
| 子ども青少年支援演習 | 2 | 高校の非常勤講師の経験を活かして演習を行う。 | ○ | | |
| 公認心理師の職責 | 2 | 臨床心理士・公認心理師として臨床実務経験のある教員が講義する。 | ○ | | |
| マスコミュニケーション論 | 2 | 報道の各分野の専門的な記者の方がたに講義していただきます。取材のしかた、記事を書き方、報道のあり方、報道の最前線で問題になっていることなどを、実務経験豊富な講師陣から学ぶことができます。 | | ○ | |
| マイノリティと共生 | 2 | 担当教員各々の専門領域における研究及び実務経験をいかした講義を実施する。 | ○ | ○ | ○ |
| 名古屋と行政 | 2 | 名古屋市役所の各局・各課の方々、ゲストスピーカーとして来校して下さいます。現場での実務経験を活かした現実社会の動向について、講義して下さいます。 | | ○ | |
| 日本の歴史（日本近代史2） | 2 | 博物館・文書館での実務経験を活かした講義を行う。 | | ○ | ○ |
| 乳児保育1 | 2 | 保育所・子育て支援センターなどでの実務経験がある講師による授業である | ○ | | |
| 乳児保育2 | 1 | 保育所・子育て支援センターなどで実務経験がある講師による授業である。 | ○ | | |
| 音楽表現 1 | 2 | 特定非営利活動法人リトミック研究センター養成校における、リトミック指導者養成の経験を生かした講義内容になっています。 | ○ | | |
| 老人福祉論 | 2 | 社会福祉士として施設での勤務経験を踏まえ授業を展開する。 | | ○ | |
| 産業・組織心理学 | 2 | 企業の人事担当者を外部講師として招聘し、人事評価や人的資源管理について講演をしていただく予定である。 | ○ | | |
| 精神保健の課題と支援 | 2 | 精神保健福祉士としての勤務経験を踏まえ授業を展開する | | ○ | |
| 社会調査論 | 2 | 学術調査だけではなく市場調査の現地調査員等の経験がある教員が、調査活動の全体像を実例を交えながら講義する。さらに、地方公共団体の統計担当部署による調査実務や、（元）新聞記者を招いた取材活動の実際に関するレクチャーも交える。 | | ○ | |
| 社会福祉援助技術総論 | 4 | 精神科病院における3年間のソーシャルワーカー（PSW）実務経験をふまえて、適宜ソーシャルワークの実際について講義を実施。 | | ○ | |
| 社会福祉援助技術方法 1 | 4 | 精神科病院における3年間のソーシャルワーカー（PSW）経験をふまえて、適宜ソーシャルワークの実際について講義を実施。 | | ○ | |
| 社会福祉援助技術方法 2 | 4 | 病院勤務（精神科） 高齢者福祉施設勤務（16年）及びNPO法人設立、常任理事経験から社会福祉の実践的な内容を教授 | | ○ | |
| 社会保障論 | 4 | 社会福祉士として施設での勤務経験を踏まえ授業を展開する。 | | ○ | |
| 心理学的支援法 | 2 | 教員の臨床心理士・公認心理師としての経験を交えながら、現場での心理学的支援の実際を学びます。 | ○ | | |
| 障害者・障害児心理学 | 2 | 担当教員の臨床心理士・公認心理師としての実務経験を交えながら、講義を展開します。 | ○ | | |
| 心理実習 2 | 1 | 公認心理師・臨床心理士の資格をもつ教員が、現場に即した指導を行います。 | ○ | | |
| 障害者福祉論（2021） | 2 | ソーシャルワーカーとして現場経験を生かした授業を実施 | | ○ | |

実務経験のある教員による授業科目（人文社会学部）

| 科目名 | 単位数 | 実務経験を活かした教育の取組 | 心理 | 現代 | 国際 |
|------------|-----|--|----|----|----|
| 相談援助演習 1 | 2 | 精神科病院における3年間のソーシャルワーカー（MHSW）経験、及び20年間の社会福祉士養成の経験をふまえて、適宜ソーシャルワークの実際について講義を実施。 | | ○ | |
| 相談援助演習 3 | 2 | 本科目は社会福祉士国家試験受験資格課程のための必修科目であり、厚労省規定により、「教員要件」が厳格に規定されている。担当教員は全員、原則的にソーシャルワーカーとしての実務経験を有しているため、適宜それをふまえた講義・説明を行う。 | | ○ | |
| 相談援助演習 5 | 2 | 社会福祉士として施設での勤務経験を踏まえ授業を展開する。 | | ○ | |
| 相談援助実習 | 6 | 本科目は「社会福祉士国家試験受験資格課程」科目であり、厚労省の法令において、「教員要件」が厳格に規定されている。その要件をふまえて、本科目担当教員は全員原則としてソーシャルワーカーとしての実務経験を有しており、実習中の巡回指導時、適宜そのことをふまえた指導を行う。 | | ○ | |
| 相談援助実習指導 1 | 2 | 本科目は「社会福祉士国家試験受験資格課程」科目であり、厚労省の法令において、「教員要件」が厳格に規定されている。その要件をふまえて、本科目担当教員は全員ソーシャルワーカーとしての実践経験を有しており、適宜、その経験をふまえた講義を行う。 | | ○ | |
| 相談援助実習指導 2 | 4 | 本科目は「社会福祉士国家試験受験資格課程」科目であり、厚労省の法令において、「教員要件」が厳格に規定されている。その要件をふまえて、本科目担当教員は原則的に全員ソーシャルワーカーとしての実務経験を有しており、適宜、その経験をふまえた講義を行う。 | | ○ | |
| 地域福祉論 | 2 | 本講義は、CSW（コミュニティソーシャルワーカー）の実務経験等を有する教員が、その実務経験を生かして、コミュニティワークや地域福祉福祉を取り巻く概況、最近の政策動向等を講義する科目である。 | | ○ | |
| 地理学 | 2 | 授業者は長年にわたり高等学校で地理を担当し、教科書の教授資料やサブノート、地理資料の作成などに携わってきました。この経験を活かし、模式図や概念図を用いながら、分かりやすい授業の実現をめざします。 | | ○ | ○ |
| 中学校教育実習 | 5 | 中学校・高等学校に勤務した教員が、本科目を担当する。 | ○ | ○ | ○ |
| 都市政策論 | 2 | 3人の講師は、それぞれ以下のような名古屋市での豊富な実務経験を活かして講義します。 伊藤－法規審査・法制事務、行政改革、人事管理、議会事務局長、教育長、博物館長経験など 佐藤－高齢者等の社会福祉、公衆衛生、福祉関係の財務、こども青少年局長、社会福祉協議会役員経験など 矢野－法規審査・法制事務、総合計画、廃棄物・環境管理施策、大学管理、区長経験、名古屋国際センター役員（国際化・多文化共生）など | | ○ | |

【専門教育科目】

| | | | |
|---------|----|----|----|
| 全学共通科目 | 0 | 0 | 0 |
| 学部等共通科目 | 22 | 22 | 22 |
| 専門科目 | 24 | 56 | 12 |
| 単位数合計 | 46 | 78 | 34 |

【教養教育科目】

| | | | |
|---------|----|----|----|
| 全学共通科目 | 42 | 42 | 42 |
| 学部等共通科目 | 4 | 4 | 4 |
| 専門科目 | 0 | 0 | 0 |
| 単位数合計 | 46 | 46 | 46 |

【合計】

| | | | |
|---------|----|-----|----|
| 全学共通科目 | 42 | 42 | 42 |
| 学部等共通科目 | 26 | 26 | 26 |
| 専門科目 | 24 | 56 | 12 |
| 単位数合計 | 92 | 124 | 80 |